



オフィス



<施設の概要>

所在地：香川県高松市丸の内2-1
 延床面積：約13,900㎡
 構造・規模：鉄骨造・地上7階、地下1階建て
 施主：四電ビジネス(株)
 設計：新ヨンデンビル別館設計共同企業体
 ((株)安井建築設計事務所・(株)四電技術コンサルタント)
 施工：建築/鹿島・大成建設新ヨンデンビル別館新築共同企業体
 電気/(株)四電工
 竣工：平成16年3月

Hf蛍光ランプ器具の口の字形配置により、全体の明るさを適正に保ちながら、初期照度補正と昼光利用制御により省エネを実現

■パブリックスペースでは建築化照明によりくつろぎ感を演出

ヨンデンビル新館は、水蓄熱システム、太陽光発電、土壌蓄熱システムなど、自然エネルギーを積極的に利用して、建物全体の環境負荷低減に配慮した施設です。またネットワークを介して電気機器を遠隔監視・制御するオープンプラネットシステムを取り入れ、省エネを推進しています。

事務室の照明は、Hf蛍光ランプ器具をシステム天井に口の字形に配置して全体の明るさを適正に保ちながら、初期照度補正と調光下限25%までの昼光利用制御により省エネ化を図っています。

受付・待合ロビーの照明は、円形のコーブ照明による柔らかな間接光を中心に、32Wコンパクト形蛍光ランプダウンライトと32Wコンパクト形蛍光ランプ3灯用カバー付器具による壁面照明を組み合わせることでやすらぎの空間を演出し、建物内部への誘引性を高めています。

コンファレンスホールはベース照明に2種類の光源を採用。42Wコンパクト形蛍光ランプ4灯用ダウンライトにより省電力、長寿命、高照度を確保し、130Wハロゲンランプダウンライトによりスムーズな調光に対応しています。

食堂は32WHf蛍光ランプによる間接照明、42Wコンパクト形蛍光ランプダウンライトをベース照明とし、いずれも電球色のランプ使用により温かみのある空間をつくり出しています。

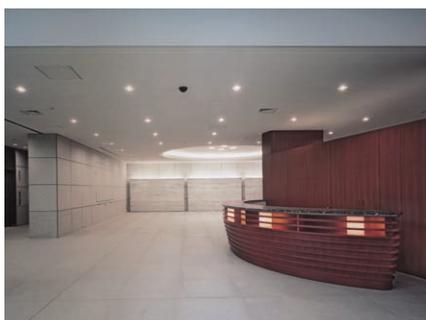
■照明コンセプト

Lighting design concept

- エリア用途に合わせて器具・光色を選定し、自然エネルギーや資源の最大限有効活用のための省エネ
- パブリックスペースは建築化照明、壁面照明等を取り入れてくつろぎ感を演出。執務スペースには適正な照度確保と省エネ手法の実施



7階事務室の照明：32WHf蛍光ランプ口の字配置器具と照度センサーで初期照度補正制御、昼光利用制御を行う



1階受付・待合ロビーの照明



調光対応可能なコンファレンスホールの照明



食堂の照明：間接照明とダウンライトで柔らかな光環境とし、かつ色温度3,000Kの温かみのある空間を創出

■主要照明器具一覧

設置場所	器具・ランプ
1階受付・待合ロビー	FHT32W1灯用ダウンライト、FHP32W3灯用カバー付器具
2階コンファレンスホール	FHT42W4灯用ダウンライト、130Wハロゲンランプダウンライト
2階食堂	Hf32W間接照明、FHT42W1灯用ダウンライト
4階～7階事務室	Hf32W1灯用システム天井口の字配置

(撮影/(株)エスエス大阪)